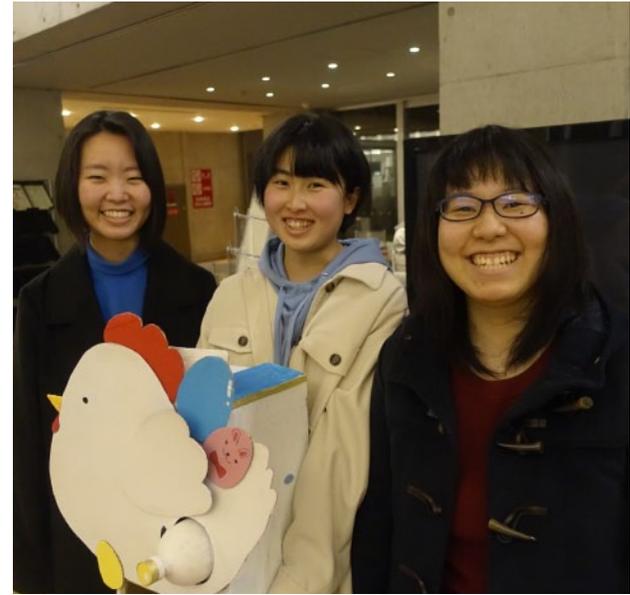


# この経験は必ず役に立つ事を！



「見つける・みがく・光を当てる」芸術展  
～小美玉に光を集めよう～

はしもと えみゆ やぐち まき よしだりさ  
橋本笑優さん、矢口茉樹さん、吉田莉紗さん

「これからは中々来れないけど、どこかで携われたらいいな！」とみんな笑顔で話す

みの～れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
のすすめ  
No.153

早咲きの桜がほころび始めました。イヌフグリの花がブルーの絨毯を敷きつめて綺麗な野原です。待ちに待った桜の季節も、今年は新型コロナウイルスの影響で自粛や中止のお知らせが届いています。みのでも3月のイベントが中止になり、3月7日から15日まで開催を予定していた『たまご!?展』が延期になりました。今回は小美玉市にお住いの高校生で、芸術展プロジェクトメンバーとして爽やかな新しい風を吹き込んでくれた、橋本笑優さん、矢口茉樹さん、吉田莉紗さんを取材します。

笠間高校美術科で油絵を専攻していた矢口茉樹さん、デザイン専攻の橋本笑優さん、吉田莉紗さんは3月高校を卒業されました。大きな希望や夢にむかって4月から大学や専門学校で新しい生活がスタートする3人にお話を聞きました。

芸術展に関わるようになったきっかけを聞いてみました。矢口さんが芸術展のチラシを見て、橋本さんと吉田さんに、「こういうのがあるんだけど・・・一緒にやらない?」と声をかけたそうです。「美術系を学んでいるので今後手順や、こういう時はこうなるっていうのを学べると思いついていました。延期になって、今後進学するため今までのように関わるのが難しくなってしまうのですが、良い意味で地元に携われてとても良かったと思います」と笑顔で話してくれました。

橋本さんは、「参加することによって自分の経験値がアップしました。なかなか自分が携われる芸術の企画ってないので良かったと思います」とにっこり笑って

れました。

吉田さんは、「プロジェクトに直接関わって楽しかったです。アイディアのぶつかり合いとかあつて簡単にはいかなかったときもあったけど良い経験になりました」と笑顔で話してくれました。

また、矢口さんは、「地域の方と交流する機会がなかったので会議の時に話ができて良かったです。プロジェクトのメンバーに申し込んだのはいいけれど、逆に中学生ばかりだったらどうしよう・・・という不安もありました(笑)。

芸術展が延期になり悔しい気持ちと悲しい気持ちがあります。10ヶ月間、会議をしてきてここで終わりにたくないという思いもあります。ここでの経験を糧に大学に入ってもボランティアをやろうと思えます」と話してくれました。

橋本さんは、「みのくれは中学の時、吹奏楽部で使わせてもらいました。絵を展示されたこともあったので家族で観に来たりしました。たまご展は延期になってしまつて残念だけど最善を尽くした

と思います。期間が延びた分、パワーアップできるんじゃないかな。私もできるだけスタツプとして関わりたいと思います」と話してくれました。

吉田さんは、「みのくれは自然光が入り温かなイメージがありますね。今まで私は地域との交流があまりなかったのですが、プロジェクトに入って勉強になりました。私は小学校に入る時に笠間から小美玉に引っ越して来て、まだ知らないところがたくさんあるので参加して良かったです。進学先が遠方なので、これからの会議にはあまり参加できないのですが、開催するときはスタツプとして参加したいと思います」と話してくれました。

『たまご!?展』は時期は未定ですが、必ず実施したいと考えているそうです。時間をかけて、高校生のフレッシュな意見を取り入れた素晴らしい企画です。企画を温めて皆さんと楽しめる日がきますように・・・楽しみにお待ちください。

(藤田佐知子)